

1

(1) ①	ウ	②	ア	③	イ	(2) ①	ア	②	ウ	③	イ
-------	---	---	---	---	---	-------	---	---	---	---	---

(3)	子葉	(4)	小さい	ア	大きい	イ
-----	----	-----	-----	---	-----	---

2

(1), (4) 各順不同完答 (6) カタカナ 5 字指定 (9) カタカナ 4 字指定

(1)	①, ④	(2)	かんぜん 完全	へんたい 変態	(3)	④
-----	------	-----	------------	------------	-----	---

(4)	②, ③	(5)	⑤	(6)	ア	ブ	ラ	ム	シ
-----	------	-----	---	-----	---	---	---	---	---

(7)	ウ	(8)	りん <sup>ぶん</sup> 粉	(9)	ア	オ	ム	シ	(10)	ウ
-----	---	-----	--------------------	-----	---	---	---	---	------	---

3

(4) 順不同完答

(1)	ア	(2)	左	(3)	お	(4)	え, か
-----	---	-----	---	-----	---	-----	------

(5)	③	(6)	エ	(7)	エ	(8)	ア	(9)	エ
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

4

①	○	②	×	③	×	④	○
---	---	---	---	---	---	---	---

⑤	○	⑥	×	⑦	○	⑧	○
---	---	---	---	---	---	---	---

[配点] ①~③ : 各 3 点 × 28 = 84 点

④ : 各 2 点 × 8 = 16 点 (合計) 100 点

2

①…テントウムシ ②…コオロギ ③…セミ ④…モンシロチョウ ⑤…トンボ

- (1)(2) さなぎの時期があるのはテントウムシ、モンシロチョウであり、このような育ち方を完全変態という。
- (3) さなぎで冬ごしをするのはモンシロチョウである。
- (4) 成虫が鳴くのはコオロギ（前ばねをこすりあわせる）、セミ（腹をふるわせる）である。オスが鳴く。
- (5) トンボの幼虫をヤゴといい、水中で生活している。
- (6) テントウムシは、幼虫も成虫もアブラムシ（アリマキともいう）を食べる。
- (7) セミの成虫は、木のみきから木のしるをすう。幼虫は地中にいるので、根から木のしるを吸う。
- (8) チョウやガのはねについている粉をりん粉といい、水をはじく役割をしている。
- (10) トンボは他の小さな虫を食べるので、かむ口をしている。

3

- (1) 鏡を上の方に向けると、はね返した日光も上に動く。
- (2) はね返した日光を左に動かすには、鏡を左に向ければよい。
- (3) 鏡ではね返した日光がたくさんあたる部分が最も明るく、最もあたたかい。  
おには、3枚の鏡ではね返した日光があたっている。
- (4) いと同じ、2枚の鏡ではね返した日光があたっている部分をさがす。
- (5) 日光があつまった部分が最も小さくなっているところが、最も明るく、最も熱い。
- (6) ①→②→③→④の順になるので、日光があつまった部分の大きさは、大→中→小→中となっている。
- (7) 虫めがねを上を動かすと、①に置いた板と虫めがねの間の長さは長くなっていく。つまり、板を①→②→③→④の順に動かすのと同じ結果になる。
- (8) 虫めがねを上を動かすと、④に置いた板と虫めがねの間の長さは長くなっていく。そのため、日光があつまった部分の大きさはだんだん大きくなる。
- (9) 虫めがねを下を動かすと、④に置いた板と虫めがねの間の長さは短くなっていく。つまり、板を④→③→②→①の順に動かすのと同じ結果になる。

4

① アブラナ…春      ② アサガオ…夏      ③ イネ…夏      ④ シロツメクサ…春  
⑤ チューリップ…春      ⑥ ヒマワリ…夏      ⑦ ナズナ…春      ⑧ ソメイヨシノ…春